

2022 年春季女子 ABC ブロック対抗戦 感染対策要項

2022 年 4 月 8 日
関東学生ゴルフ連盟
感染対策委員会

目次

はじめに・・・コロナ禍での競技参加者としての心得について	2 ページ
1, 競技前 14 日間において	3 ページ
2, 2022 年春季対抗戦における感染対策の説明	3～5 ページ
タイプ① ワクチン所定回数接種済み者について	
タイプ② 未接種あるいは 1 回のみ接種、もしくは 2 回目接種から 8 か月以上経過している方々に関して	
3, 競技当日において	5～6 ページ
3-1) 入場チェック前にお願いしたい約束事	
3-2) 入場前の検温と「体調管理チェックシート」の提出義務	
3-3) 「学校バブルシステム」遵守	
3-4) プレー中以外は「マスク着用」の徹底	
3-5) 発熱、咳き込む、熱中症、体調不良に関して	
3-6) 指導者の方の競技場入場について	
4, その他	7 ページ
4-1) ギャラリーについて	
4-2) カートの乗車について	
4-3) 所属大学当局からの部活動指針について	
4-4) 競技会場往復時の安全運転励行について	

はじめに

選手並びに関係者の皆さまへ

首都圏の感染者数が、未だ好転していない状況下での競技開催に、ご理解とご協力の意を示して頂き、誠にありがとうございます。

大学によっては、まだまだ「部活の制限」や「宿泊を伴う合宿禁止」も、多数校あるとお聞きしております。また、オミクロン株やそこから派生した新株は、感染力が強いという脅威もあり、ワクチン接種が進んでも全く予断を許されない状況が続いております。特に、10代、20代の感染者割合が、全体数の5割近くにのぼり、本連盟として、皆さまの健康と命を守るべく、これまでと同様の感染対策継続を余儀なくされるところです。

先の3月11日にホームページに掲載させて頂いた「ガイドライン第3版」を熟読・周知し、今まで同様、自制的な生活を励行して頂き、春の対抗戦・個人戦に臨んで頂きたいと存じます。

特に「**競技14日前の水際対策**」が最重要で、今一度、再読・熟知し、遵守して頂けるよう、宜しくお願い致します。

どうか「若いから平気」、「自分は大丈夫」などの慢心は絶対に控えて頂き、感染対策、健康管理をしっかりと行なった上で、競技に臨んで頂くことを切にお願い申し上げます。

本連盟としても、アクシデントや離脱者を出すことなく、安心・安全な競技運営に努めてまいりますので、何卒、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

関東学生ゴルフ連盟

感染対策委員会リーダー 金井 毅

1, 競技前 14 日間において

1-1) 今一度、ガイドライン P27~P44 の熟読をお願い致します。 (詳細を記載しています)

1-2) また「当該競技 7 日前の宿泊或は、宿泊を伴う練習・ラウンド」を行なう場合、

①学連所定の「申請フォーム」を提出し、認可をうけた者(大学)のみ参加できます。

*「申請フォーム」に関しては、主務連絡網を通じて、ご一報させて頂いております。

②上記においては、所定のワクチン接種回数済み者もしくは、PCR 検査(抗原検査可)を必ず受け「陰性」でないと参加できません。 *ガイドライン P27 参照

★ワクチン接種状況に関しては、所定の「ワクチン接種状況リスト」に記載された内容を有効とします。これを怠り接種済みリストに名前がない場合、接種済み者と認めることができません。

*「ワクチン接種状況リスト」詳細説明は 3 月 31 日にホームページ掲載しております。

2, 2022 年春季対抗戦における感染対策の説明

昨年とは異なり、2022 年度関東女子大学春季 ABC ブロック対抗戦(5 月 7・8 日)は、

タイプ① ワクチン所定回数接種済み者は、体調チェックシートで「異常なし」のみをもって、検査陰性と同等と認め(追加検査不要として)、2 日間競技(指定練習ラウンド含め 3 日間)は、事前の PCR (抗原) 検査を行なわないとします。

但し、皆さまに提出して頂いた「ワクチン接種状況リスト」において、

タイプ② 未接種あるいは 1 回のみ接種、もしくは 2 回目接種から 8 か月以上経過している選手・関係者に関しては、医学上、ワクチンの有効性判断ができないので、PCR 又は抗原検査での「陰性判定」により、出場が認められます。

*8 か月を超えている場合で接種券により可及的速やかに予約をして 10 か月以内に接種 3 回目を予定して待っている方々は除く→この場合、タイプ①に含む(ガイドライン P27 参照)

タイプ①に該当する選手・関係者は、

事前検査を行なわない為、競技 14 日前より、ガイドラインに則った行動様式を遵守し、当該競技に臨んで下さい。

タイプ②に該当する選手・関係者は、

指定練習日の 3 日前以内に、検査を行なって下さい。検査キット等は、お手数ですが、各校で購入なり、お手配をお願い致します。(ワクチン接種が進み、要検査者数が大幅に減った為)

ご負担頂いた分に関して本連盟費用負担は税込 1000 円とさせていただきます。本連盟に大学単位でご請求頂ければ、競技会場にてお支払い致します。(指導者の方は自己負担お願い致します)

*参考までに本連盟がお取り組みしている「Anywhere (エニーウェア)」様 (<https://anywhere-no1.jp>) からですと「鼻腔採取抗原検査キット」を 825 円(税込)にて購入できます。

また、自治体が斡旋する無料の PCR 検査も、同様に陰性の証明となる写真を送って下さい。

以下、タイプ②の対象選手、関係者用の手順説明

②-1) 検体採取実施日について

5月3日(火) 又は5月4日(水) 午前中までに検査を実施して下さい。

*検査精度上、上記実施日は、余程の理由がない限り、遵守して下さい。

②-2) 検査結果報告のやり方、

5月4日(水) PM3時まで (この時間を越えた場合、基本、受付致しません)

検査人数分の判定写真を所定の「**検査結果報告フォーマット**」(Excel ファイル)にまとめ、以下のメールアドレス宛に提出して下さい。

ksga.kensa@gmail.com (担当：学生感染対策委員 牛谷、新出、関谷)

***この判定報告を間違いなく、正確にレスポンスして頂けることが重要です。**

この「**検査結果報告フォーマット**」提出し、陰性確認できた選手と、タイプ①のワクチン所定回数接種済み選手が【**対抗戦選手登録者**】として認可されます。

↓

「**検査結果報告フォーマット**」記入方法について

① 1シート目の「提出用紙」については、**青色で塗られている記入欄がございますので、そこに必要事項を全て記入して下さい。**

また、ワクチンを所定回数接種済みで学連事務局に「ワクチン接種状況リスト」提出を行い、検査が免除されている方は必ず氏名・登録年の右側にあります欄に「○」と記入して下さい。事前提出を行っていない場合には検査が免除されませんのでご注意ください。

② 2シート目の「検査結果」については、シートの上部に記載されている例を参照して、検査結果の写真やスクリーンショットを載せて、名前の記入を必ず行なって下さい。

検査結果の写真のサンプルを、以下に掲載します(要参照)

大学名	学生連盟大学	↓該当する方に○
氏名	学連 太郎	加盟員 / 加盟員以外
検査日時	2021年 8月16日 14時00分頃	



*上記写真の検査板と実物は若干異なります

②-3) 検査結果判明後の段取り・諸注意事項

もしも「陽性」判定が出た場合、その方は、日本国の様式に従った行動をとって下さい。

(医師・保健所への相談・連絡)

また、陽性判定者は、その結果を部の責任者（指導者、主将、主務）に必ず報告して下さい。報告を受けて、責任者は、まず所属大学当局にその旨の連絡を入れ、大学当局の指示・判断をあおいで下さい。大学当局からの指示が「チームの出場を認める」或は「出場を辞退する」など、どういう裁定にせよ、速やかに本連盟に必ずご一報下さい。

*同一校から 2 名以上陽性者が出た場合は、クラスターの疑いとなり、その大学は出場できません。(但し、活動拠点が全く別で、普段からの接触がないことが証明された場合、この限りではありません) もちろん、陰性であれば指定練習日よりご参加下さい。

3、競技当日において

検査免除時の行動の基本は「自身が感染者と仮定して、他人にうつさない立ち居振る舞い」をすることです。もちろん、他人からウイルスをもらわない行動を取ることにも自衛の意味が必要です。競技当日はこのパフォーマンスが重要となります。

3-1) 入場チェック前にお願いしたい約束事

感染対策の大切なポイントとして、責任者（指導者、主将、主務）の方は、以下の点を必ずチェックして下さい。

1、当日の朝（試合会場へ出発前）に、発熱症状（平均体温より 1 度を超えて高い場合）或いは体調を崩している者がいないか？！

*上記に該当する選手は、感染対策の見地で、絶対にコース入りをさせないで下さい。

2、「体調管理チェックシート」を忘れていないか？また、記入漏れ（特に平均体温や氏名、連絡先など）がないか？

3-2) 入場前の検温と「体調管理チェックシート」の提出義務

出場選手は、「検温」を、本連盟が設置する入場口にて、おこなって頂きます。

その際、平均体温より 1 度を超えて高い、もしくは 37.5 度以上の者は入場不可です。同時に、「体調管理チェックシート」を提出して頂きます。

未提出者、或は記載内容に不備があった場合（平均体温未記入など）入場不可です。

*特に未提出や記入不備、その場で適当に記載した場合、感染対策の意識が希薄と判断し、安全管理上、入場を固くお断りしますので、ご留意下さい。

(本年度は、検査免除の競技も多く存在し、上記の赤文字部分は厳しくチェックさせていただきますので、しっかり遵守して頂けるよう、ご留意下さい)

3-3) 「学校バブルシステム」 遵守

- ① 普段から **学校単位での感染対策の更なる徹底** をお願い致します。
- ② 競技会では、学校単位での接触活動のみにとどめることを徹底し、**学校を超える選手間・関係者間の濃厚接触を完全に避ける** こととします。
 - ・朝の入場時は、他校選手との濃厚接触を避けるようケアして下さい。
 - ・プレー中もソーシャルディスタンスをとり、他校選手との濃厚接触を回避して下さい。
 - ・当日の来場も、同じ大学単位で来場。練習場、練習グリーンも濃厚接触を避けて下さい。
 - ・猛暑や大雨など、諸状況でロッカー利用許可が出た場合や、クラブハウス及びその周辺待機の場合でも、同じ大学単位での行動指標を念頭に置いて下さい。

このシステムを遵守して頂くことで、万が一、感染者が認められても「濃厚接触は当該大学の選手、関係者のみ」となり、その日の競技を中止せず、継続することが出来ます。

*** その選手自身は競技場から退場。** 濃厚接触の当該大学の他の選手、関係者も、競技場から退場となります。

3-4) プレー中以外は「マスク着用」の徹底

- 練習場、練習グリーン、スタート集合時、アテスト時は、マスク着用を基本とし、**飛沫の出るような私語は厳禁とします。**(ショット・パター練習時マスクは必須とはしていませんが、口を開けての発声を行った場合は下記のような退場処分となりますので、マスクできる状況下ではマスクの着用が無難です)
- * 私語や大声の会話を注意される、マスク未着用を注意される等、感染対策上の落ち度を、合わせて2回以上受けた者は、反省の意がないと判断し、**退場して頂きます。**

3-5) 発熱、咳き込む、熱中症、体調不良に関しては、下記の点をご注意ください。

- ① 上記の顕著な症状が、競技中に認められた場合は、**症状を隠すことや、無理をすることはせず、遠慮なく学連関係者へ申し出て下さい。**(その勇氣によって、競技進行が大事に至らず、ご自身・参加者の「命」「健康」を救う判断となります)
- ② **競技数日前から体調不良の自覚がある場合は、必ず部の責任者に申し出ること。**
- ③ 熱中症を防ぐ意味でも、十分な睡眠、小まめな水分補給を試合当日はもちろん、普段から怠らないようお願い致します。*** 日傘は必ず持参すること**
(感染対策上、「熱中症のリスクでマスク未着用の場合は日傘必須」のローカルルールを設定することがございます。 *ガイドライン P41 参照)

3-6) 指導者の方の競技場入場について

- 1校につき指導者の方は、**計3名まで入場可とさせていただきます。**(ワクチン接種済み或は検査陰性の方が入場可) それ以外の方々(OB や父兄など) は入場できません。

4, その他

- 4-1) ギャラリーについては、感染力の強い新株からの感染を、よりケアする為に、現段階では、春季対抗戦はギャラリー入場不可とさせていただきます。
- 4-2) 今年度から上記の背景より、カートの乗車は不可としています。*ガイドライン P42 (但し、リモコンでない自走式カートや、ホール間インターバルが長距離の場合、ローカルルールが会場ごとに設定されるケースがあります)
また、刻々と変わる感染状況を鑑み、追加の感染対策や感染対策のローカルルールを発信する場合もございます。その場合、主務連絡網やホームページ、試合会場掲示板を通してご一報させていただきますので、ご確認の程、お願い致します。
- 4-3) コロナ禍における各大学当局の部活動制限は、大学ごとに若干の差や違いがあると思われま。自身の大学の部活動において「部活停止や自粛」あるいは「試合出場不可」などの制限が出ている場合、大学の許可がなければ本連盟競技に出場できません。大学からの情報を常にご確認下さい。(大学からの指示が急に出る場合もございます)
前述のような制限が出ていたにもかかわらず、無許可で本連盟競技に出場した事実が判明した場合は、本連盟規約第 13 章第 73 条を適用させていただきます。
- 4-4) 自家用車での往復に際しては、各自が気を付けて安全運転に努めて下さい。また、競技終了後は速やかに帰路について下さい。

以上です。

本連盟としても事前準備含め、より円滑に推進できるように努めます。

選手・関係者の皆様には細かい段取りを強いらせてしまいますが、感染対策の見地で、安心・安全な競技開催を具現化する為の大切な行動指標として、ご理解頂ければ幸いです。宜しくお願い申し上げます。